

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 4 年 12 月 5 日 (2022.12.5)

【公開番号】特開 2021-92958 (P2021-92958A)

【公開日】令和 3 年 6 月 17 日 (2021.6.17)

【年通号数】公開・登録公報 2021-027

【出願番号】特願 2019-223002 (P2019-223002)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0488(2022.01)

10

G 0 3 B 17/02(2021.01)

G 0 3 B 17/18(2021.01)

H 0 4 N 5/232(2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/0488

G 0 3 B 17/02

G 0 3 B 17/18 Z

H 0 4 N 5/232 1 6 0

H 0 4 N 5/232 9 4 5

H 0 4 N 5/232 9 3 3

20

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 25 日 (2022.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

S 3 0 3 では、システム制御部 2 0 1 は、ユーザによりタッチパネル 2 7 0 a にタッチ
 ダウンが行われたか否かを判定し、タッチダウンが行われた場合は S 3 0 2 に進み、タッ
チダウンが行われない場合は S 3 0 1 に戻る。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0071

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0071】

S 3 1 1 では、システム制御部 2 0 1 は、S 3 0 8 でのタップ位置 (図 5 の 5 6 1) が
 タッチパネル 2 7 0 a の端部であるか否か、つまり、基準点がタッチパネル 2 7 0 a の端
 部であるか否かを判定する。システム制御部 2 0 1 は、基準点がタッチパネル 2 7 0 a の
 端部である場合は S 3 1 2 に進み、基準点がタッチパネル 2 7 0 a の端部でない場合は S
 3 1 3 に進む。S 3 1 0 でタッチアップ位置と基準点が同じ位置であっても、そもそも基
 準点がタッチパネル 2 7 0 a の端部の位置であれば基準点よりも端部の方向はタッチ操
 作ができないので、基準点をタッチすることで S 3 1 2 において基準点から タップ位置 の方
 向に所定量分だけ A F 枠を移動する。一方で、基準点がタッチパネル 2 7 0 a の端部で
 ない場合には、タッチアップ位置と基準点が同じ位置の場合であっても A F 枠は移動し
 ない。つまり、基準点がタッチパネル 2 7 0 a の右端かつ、上下端でない場合に、基準
 点をタップすると現在の A F 枠の位置から右方向に所定量分だけ A F 枠が移動する。
 基準点の上側 (下側)、かつタッチパネル 2 7 0 a の右端 (右辺) をタップすると上側 (下
 側) へ所

40

50

定量分だけ A F 枠が移動する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 5】

また、本実施形態は A F 枠の移動を例に挙げて説明をしたが、これ以外にも適用可能である。例えば画像編集をする際に、色を変えたり、ぼかしをいれたりする位置を指定する場合にも適用可能である。また、アイテムの位置に基づき撮影に関する処理を行ったり、画像の編集を行ったりするような場合にも適用可能である。例えば、A E の位置を設定する場合にも適用可能である。

10

20

30

40

50